



八戸市
Hachinohe City

資料 1

第3回検討協議会資料
令和7年11月27日（木）
学校教育課

中学校部活動の地域展開に係る 先進地視察報告について

- ・埼玉県上尾市教育委員会
- ・東京都板橋区教育委員会

八戸市教育委員会



- 1 観察研修の概要
- 2 埼玉県上尾市について
- 3 東京都板橋区について



1 観察研修の概要

(1) 日 程	令和7年 7月24日（木）・25日（金）
(2) 観察先	①埼玉県上尾市 ②東京都板橋区
(3) 目 的	八戸市が部活動地域展開実証事業を推進するに当たり、先進地を観察し今後に生かす
(4) 同行者	教育委員 4名 教育部次長 学校教育課長 担当指導主事 コーディネーター 2名 教育委員会職員 計 10名

2 埼玉県上尾市について

埼玉県 上尾市

(1) 上尾市の概要

- ①埼玉県の県央地域に位置
- ②人口 約23万人(県内7位の人口)
- ③学校数 12校 ※公立中学校のみ
- ④生徒数 約5,300名 ※公立中学校のみ
- ⑤部活動数 運動部 130部 文化部 36部 計166部
(令和5年度時点)

(2) 上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針

令和6年度

- ◎「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」策定(5月)

- 協議会実施(3回)
 - ☆ABC 派遣(22名)ABS 配置(57名)
 - ★スポーツ庁及び文化庁委託事業参加
 - ★「イングリッシュサロン」設立
 - 地域クラブシンポジウム定期開催(3回)
 - 各種リーフレット等の配布

AGEO地域クラブ代表者会議(新設)
統括コーディネーター配置(2名)業務委託
【 7種目・7拠点 】 実証

休日の学校部活動
有

令和7年度

- ◎AGEO地域クラブ実証事業実施
 - 種目数・拠点数の大幅拡大
 - ★スポーツ庁及び文化庁委託事業参加
 - ◎「イングリッシュサロン」継続実施
 - 協議会実施(3回)
 - ☆ABC(22名)・ABS(57名)事業継続
 - 地域クラブシンポジウム定期開催(3回)
 - 各競技団体等との連携強化
 - 新入生保護者等への説明強化
 - AGEO 地域クラブ開始に係る周知

AGEO地域クラブ代表者会議(継続設置)
統括コーディネーター配置(4名)業務委託
【 20種目・25拠点程度 】 実証

休日の学校部活動
有 (原則「土曜日」のみ)

**AGEO
地域クラブ**

「組織の完全構築」

- ニーズ把握・反映
- 指導員の増員
- 活動拠点の増加
- オペレーション確立
- 困難家庭へ支援策の整備 等

令和8年度

**AGEO
AREA
CLUB
ACTIVITY**

**AGEO
地域クラブ
完全実施**
(令和8年8月予定)

運営体制確立
【 22種目・64拠点程度 】
完全実施

休日の学校部活動
廃止(予定)

(3) 推進体制（令和7年度）

事業主体 上尾市教育委員会 学校教育部 指導課

①主担当・スポーツ担当

②副担当

③文化芸術担当

④イングリッシュサロン担当



【連携課】

- ・教育総務部 生涯学習課
- ・教育総務部 スポーツ振興課
- ・学校教育部 学務課

業務委託

運営主体：サンワエナジークラブ
(統括コーディネーター業務委託団体)

SANWA X ENERGY



管理

登録

実施主体：公募により決定した団体

- ・指導者を派遣できる団体を選定
- ・中学校施設等を利用



(3) 推進体制（令和8年度）

事業主体：上尾市教育委員会 学校教育部 指導課

- ①主担当・スポーツ担当
- ③文化芸術担当

- ②副担当
- ④イングリッシュサロン担当



主管課を移管

学校教育部指導課

- 平日の学校部活動

地域クラブ活動の主管課
教育総務部

スポーツ振興課

- スポーツ活動



生涯学習課

- 文化芸術活動



教育委員会内での主管課移動・役割分担

(4) 地域クラブ活動の概要

●令和7年度 活動一覧

No.	種目	分類	拠点数	受入生徒数予定	指導者数	回数
1	ソフトテニス	スポーツ	2	80名	4	22
2	バレー・ボール	スポーツ	2	60名	4	22
3	陸上競技	スポーツ	2	80名	4	22
4	バスケットボール	スポーツ	2	60名	4	22
5	軟式野球	スポーツ	2	80名	4	22
6	卓球	スポーツ	2	60名	4	22
7	剣道	スポーツ	2	60名	4	22
8	サッカー	スポーツ	2	80名	4	22
9	バドミントン	スポーツ	2	80名	4	22
10	ソフトボール	スポーツ	1	40名	2	22
11	ダンス	スポーツ	1	30名	2	22
12	ニュースポーツ・パラスポーツ	スポーツ	1	30名	2	10
13	ペタンク	スポーツ	1	20名	2	10
14	ゲートボール・グランドゴルフ	スポーツ	1	15名	2	10
15	吹奏楽	文化芸術	1	30名	2	10
16	合唱	文化芸術	1	20名	2	10
17	プログラミング	文化芸術	1	30名	2	10
18	家庭科(手芸・料理・菓子作り)	文化芸術	1	15名	2	10
19	美術	文化芸術	1	20名	2	10

●登録者数 (R7. 6. 30現在)

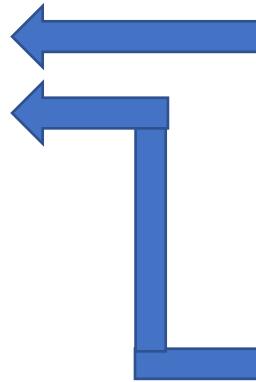
学年	参加者数
中学1年生	308
中学2年生	255
中学3年生	75
<u>合計</u>	<u>638</u>

※小学校4,5,6年生
登録者：77名

(4) 地域クラブ活動の概要

●令和7年度 当初予算見込み

単位：千円

内 訳 事 業 費 年 度 当 初 の 予 定	人件費・賃金	2043	
	諸謝金	6752	
	旅費・交通費	1232	
	借料及び損料	158	
	消耗品費	1900	
	公告作成費	50	
	通信運搬費	1076	
	雑役務費	530	
	保険料	805	
	困窮家庭支援	1045	
	活動用ウェア	2175	
	予備費	550	
小計		18317	

業務委託先（統括コーディネーター）に係る人件費

地域クラブにおける指導者の謝礼等

(5) 指導者について

①謝金とその根拠

- ・ **指導者謝金 5,500円**（指導料4,500円+費用弁償1,000円）

※上尾市部活動指導員の時給を参考に指導料を設定

（時給換算で1,500円×原則3時間の活動=4,500円）



②指導者の資格の有無、講習会等の状況

- ・ 指導者**資格は必要無**

・ AGEO地域クラブにおいて、
研修会を定期的に開催

※令和6年度は5回実施

※原則、全員が出席（欠席の場合
はレポート提出の義務付け）



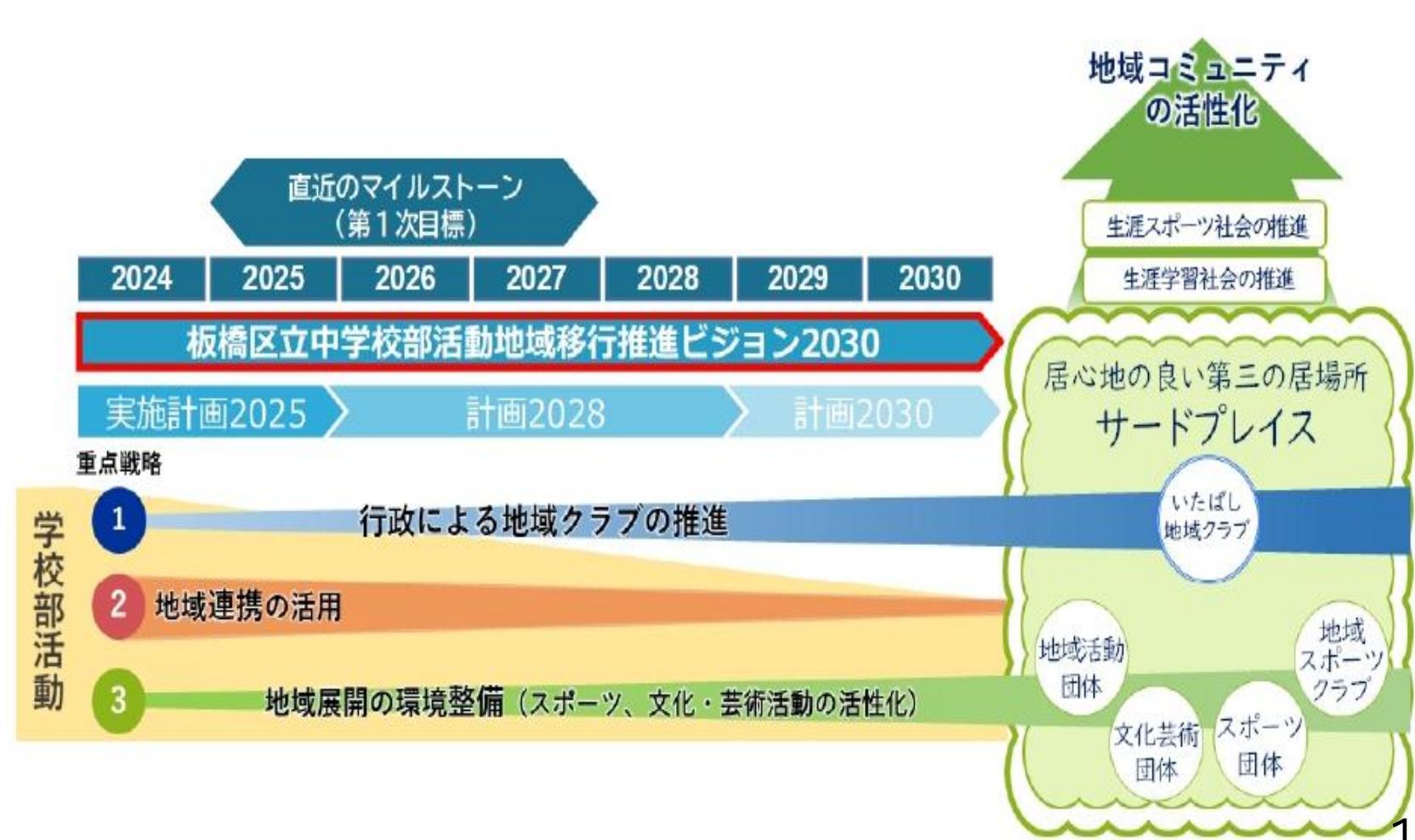
3 東京都板橋区について

東京都 板橋区

(1) 板橋区の概要

- ① 東京都の北西部に位置し、埼玉県に隣接する特別区
- ② 人口 約58万人
- ③ 学校数 22校 ※公立中学校のみ
- ④ 生徒数 約9,400名 ※公立中学校のみ
- ⑤ 部活動数 運動部 174部 文化部 126部 計300部
(令和5年時点)

(2) 板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030 板橋区立中学校部活動地域移行実施計画2025



(3) 推進体制（令和7年度）

事業主体 板橋区教育委員会 教育総務課

- ・多様な学び推進担当課長
- ・部活動地域移行係



いたばし地域クラブ

基礎的共通講座（いたばし地域クラブアカデミー）

※フィジカル・メンタルトレーニング、放課後の過ごし方や食生活改善など、種目・分野を横断した中学生のための共通講座を実施。



女子サッカー
クラブ

委
託

eスポーツ
クラブ

委
託

ロボット数学
クラブ

委
託

サイエンス
クラブ

委
託

直
営

軟式野球
クラブ
(R7年度～)

(4) 地域クラブ活動の概要

●令和7年度 活動一覧

	種目名	実施主体団体	実施回数	登録者数 (令和7年6月現在)
1	女子サッカー	株式会社ルネサンス	年45回程度	8名
2	eスポーツ	学校法人創志学園 クラーク記念国際高校	年45回程度	45名
3	ロボット数学	株式会社HITS	月1~2回程度	18名
4	サイエンス	区立教育科学館の 指定管理者	年45回程度	3名
5	軟式野球	各中学校クラブ ※直営		約390名 ※17チーム登録 16

(4) 地域クラブ活動の概要

●予算について

	活動内容	運 営 費	備 考
1	女子サッカー	230万円	・運営費 保護者負担額 東京都 補助 板橋区 補助
2	eスポーツ	200万円	
3	ロボット数学	220万円	計1, 600万円
4	サイエンス	950万円	※保護者負担額…2, 000円／月
5	軟式野球	9, 000万円	・兼職申請の教員 30, 000円／月 ・民間指導者 3, 000円／時 ・見守り（保護者） 2, 000円／時

(4) 地域クラブ活動の概要

- 1 活動時間 各学校の放課後
- 2 活動場所 各学校の校庭
- 3 道具など 各校の道具を活用
- 4 指導者の状況

指導者	チーム数
教員による指導（兼職申請）	14
地域人材による指導	3
合計	17

5 保護者負担額

時 期	保護者負担額
R7年8月まで	無料
R7年9月～R8年3月	1,000円
R8年3月～	2,000円

軟式野球クラブ

※消耗品…市教育委員会が購入



- ※1チームは3校で拠点校に集合して活動
- ※19校 計17チームによる活動

リーガアグレシーバとの連携

- ・スペイン語で「積極的にプレーするリーグ」という意味。
- ・『選手たちの未来にフォーカスした』リーグ戦形式の取組。
- ・リーグ戦を通して、選手の成長や指導者の指導力向上を図り、スポーツの社会的価値の向上を目指す。

(5) 指導者について ※地域連携の取組

●部活動指導員の配置

	令和6年度	令和7年度	※配置詳細
配置数 	3名	4名 ※全22校 2名ずつ配置	バドミントン 12名 剣道 6名 ソフトテニス 5名 吹奏楽 4名 他

- ・指導者報酬 時給2,000円（週16時間以内）、交通費、賞与あり
- ・ホームページにて随時募集
- ・配属先は区教育委員会事務局が決定

連絡体制 アプリケーションの活用



「会員と所属団体をつなぐ連絡網アプリケーション」を活用

- ・参加希望日の把握
- ・参加費、入会費の徴収 (キャッシュレス決済) →
- ・保護者との連携 (出欠確認、活動前後の連絡等)
- ・保険加入 (スポスル補償) → 保険加入手続きを省略

業務負担の
軽減

≪スポスル補償（保険）≫

補償対象 (傷害補償)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動中の事故 ・熱中症等の特定疾病 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震等災害による事故 ・団体活動往復中の事故 	
災害死亡見舞金	1,000 万円	入院日額	4,000 円
		通院日額	1,500 円
後遺障害見舞金 疾病後遺症見舞金	最高 1,000 万円	賠償（対人）	1人1億円 1事故5億円
		訴訟事故	団体に対して補償摘要